

学校だより

川中 TIMES

Trying for your dreams

佐賀市立川副中学校

学校通信 第24号

令和8年2月20日

文責 校長 馬郡直樹

佐賀駐屯地
見学

佐賀や日本の安全のために

2月6日（金）に2年生がキャリア教育の一環として、佐賀駐屯地を訪問、見学しました。

生徒達は駐屯地の中に入ると、まずはその施設の大きさや広さに驚き、「でかい」「すごい」という言葉が聞かれました。

隊員さんから佐賀駐屯地やオスプレイ（V-22）について以下のような説明がありました。

- ・オスプレイの役割は、主に隊員や物資の輸送で、大規模な災害から命を守ること（佐世保までわずか15分で飛べる）
- ・九州、沖縄の守りの要としての役割もあること

佐賀駐屯地は、単なる防衛施設ではなく、災害国・日本において、九州・沖縄全域の安心を支える中心地としての役割を担っているということでした。

訪問を終えて、2年2組 YH さんの感想は、「佐賀に駐屯地ができて、あまり良いイメージがなかったけれど、見学に行ったら、隊員さんたちは皆優しく、丁寧な説明をしていただいた。しかも1機200億のオスプレイが、なんと17機もあった。佐賀や日本の安全のために配置されていることも分かったし、自分の中で、すごくいいイメージと変わった」でした。

写真は配布した通信で御確認ください。

写真は配布した通信で御確認ください。

見学中の2年生の様子＝佐賀駐屯地

「佐賀市学校教育ビジョン2025」コーナー



◆◆ 川副中 SSP 発足！ ◆◆

川副中学校では、生徒の主体的な活動を推進し、生徒が主役となって学校を動かして欲しいと願っており、教師は生徒達の主体的な活動を応援しています。

今回、生徒の主体的な活動の一つとして、「Smile School Project（通称 SSP）」を設立しました。SSP は、今の校則が生徒達自身にとって、健全な学校生活やよりより成長・発達のために適切かどうかの確認を行い、必要に応じて校則の見直しを行っていく機関です。メンバーは、生徒会本部役員、生活安全委員長副委員長、各クラス生活委員を予定しています。SSP が、全校生徒にとって校則について考える機会となり、今まで以上に、きまりを「自分ごと」として捉え自分達で守っていこうという雰囲気を作っていくてくれることを期待しています。

将来的には、SSP のメンバーを全生徒から公募して、直接的に意見を言い、議論する場面を作っていきたいと考えています。

令和8年度4月から 川中がコミュニティ・スクールとしてスタートします！

2月16日（月）、川副中において、14人の委員による学校運営協議会準備委員会を開催しました。この準備委員会は、令和8年4月から川副中学校内に学校運営協議会を設置し、いわゆるコミュニティ・スクールをスタートさせるために開催しました。

コミュニティ・スクールとは、「地域とともにある学校」を意味します。保護者や地域住民等が目指すべき教育のビジョンを共有し、学校と共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させたり、一緒に協働したりしながら、子供たちの成長を支えていく仕組みのある学校です。今までも、子供たちの成長を家庭・地域・学校で支えてきましたが、これからは委員を中心に、「支援」から「協働」という視点で、組織的・効率的に対応していくことができるようになります。令和8年度は、年間に5回の会議を予定していますが、「学校・地域の課題」「地域行事」「ボランティア活動」「防災教育」などのテーマで話し合いが行われる予定です。

なお、令和8年度川副中第1回学校運営協議会は、5月に開催予定です。第1回協議会后に、委員の紹介や話し合いの内容等を通信でお知らせします。

校長のつぶやきコーナー

Kawasoe
Challenge and Challenge
TOPICS

◆（注意喚起）「シーシャ」を御存じですか？◆

シーシャとは、水たばこのことです。

最近、佐賀市内でシーシャ（水たばこ）の利用が若者の間に広がっているとの情報があります。市内店舗等でも関連商品が販売されており、ニコチンやタールを含むものだけでなく、含まないものも流通しています。

ニコチン等を含まない製品については未成年の使用を直接規制する法律はありませんが、シーシャは「おしゃれなもの」「害がないもの」という誤解されがちです。ニコチン・タールを含むものはもちろん、ニコチンフリーの製品であっても、未成年が使用することは健康リスクや社会的な観点から、そのリスクを理解させることが重要だと考えています。各ご家庭におかれましても、この機会にお子様との会話の話題にさせていただき、適切なお指導をお願いします。

なお、川副中では、シーシャに関わる器具や関連物品の校内への持ち込みを禁止しております。持ち込みが確認された場合は、学校として指導を行うこととしています。

☆☆ 今月の立志橋掲示板の生徒作品 ☆☆

2月は、「奇跡」を大切に生活しなければと、背筋がピンと伸びるような、そんなイメージの言葉です。

この作品を制作してくれた生徒は、1年2組 KI さんです。

KI さんがこの四字熟語にした理由や想いは、「新一年生は、小学校から中学校に入学し、人数も増え、気の合う友達ができたり、尊敬する先輩ができたりと、たくさんの新しい出会いがありました。

その一つ一つの新しい出会いを大切にしたいと思い、「一期一会」という字を書きました。

写真は配布した通信で御確認ください。

KI さんの作品＝立志橋掲示板